

## 2023夏季大会での変更事項に関する説明と秋季大会での対応について

2023夏季大会での変更事項について、すでにご意見をいただいている通り、周知や説明を徹底しないまま実施してしまったことについて、お詫びいたします。  
ここに、変更に至った内容について、ご説明させていただきます。

### 1. シード選考方法を関西ジュニアポイントに変更し、奈良県ポイントを廃止した経緯について

まず、奈良県ポイントについては、かねてより次の問題点がありました。

#### ① カテゴリー間のポイントの差が不平等。

例えば、優勝ポイントを比較した場合、

U11(12)は8点、U13(14)は30点、U15(16)は60点。

U11(12)とU13(14)の差は約4倍、U13(14)とU15(16)の差は2倍、つまりU13(14)カテゴリーのポイント割合は他のカテゴリーに対して高くなっています。優勝者のみならず、ベスト32まで同じ倍率で高くなっています。

#### ② そもそもU17(18)カテゴリーの奈良県ポイントが存在せず、高体連ポイントを使ってシード選考を実施していた。

高体連ポイントには近畿大会予選やインターハイ予選も加算されており、U15(16)の県ジュニアの成績はベスト4からのみ算入されます。

そのためU17(18)にカテゴリーが上がった際に、年上の選手とのポイントの差が大きく、且つベスト4からしかポイント加算がないことについて、毎年苦情やご意見が寄せられていました。

以上大きな理由上記2点から奈良県ポイントを廃止し、2023春季大会より関西ジュニアポイントを県ジュニア大会のシード選考に使用することにいたしました。

関西ジュニアポイント使用を決定するに至った理由は、

- ① カテゴリー間のポイント差が平等、且つ参加人数も考慮されている。
- ② 関西や全国の大会での実績も加算されており、県大会でも実力に相当するシード位置が確保され、またそれが他の選手にもわかりやすい。
- ③ シングルスに関しては奈良県の春季大会・夏季大会、ダブルスに関しては春季大会と秋季大会がそれぞれ関西ジュニアポイントに加算されているため、県内の大会結果が反映されている。

以上3点になります。

## 2. U13・U15 カテゴリーで予選・本選を実施した経緯について

かねてより、エントリー料について多くの意見をいただいております。夏季大会の前に、予選と本選を分けて異なる料金設定を実施してはどうか、と検討いたしましたが、予選勝ち上がりの選手による会場での現金の受け渡しに関する問題点や、振込手数料について結論が出ず、エントリー料については変更できない、という結論になりました。

しかし予選と本選に分けることで一方的な内容の試合が減り、1人の選手が実施できる試合数が増えて、試合の楽しさや勝つことの喜びを感じてくれる選手が増えれば、という思いもあり、実施を決定しました。

また、ロービング役員の確保も難しい状況でしたので、予選と本選で人数調整を行う必要もありました。

## 3. 順位戦を10ポイントマッチタイブレイクにした理由について

ここ数年の酷暑により、試合中熱中症で体調が悪くなる選手が後を絶たないため、暑さ対策として実施を決めました。

## 4. U13・U15 本選日程の前倒しについて

当初の日程表では、8月3日より本選、の記載をしていましたが、5日より和歌山県で中学校総体が予定されており、4日より現地入りする学校があることも予想されたため、本選を一日も早く終わらせることを考慮し、日程表・要項に「エントリー数によっては予選の日（8月1日初日、2日続き）に本選の一部を開始することもある」旨記載しました。

以上、夏季大会での変更事項をご説明させていただきましたが、本来ならばこの内容について事前に周知をはかる必要があったにも関わらず、概ねジュニア委員長として決定をし、大会を開催してしまい、選手・保護者・関係者の方々に大変ご迷惑をお掛けしたことについて、深くお詫びいたします。

今後はジュニア委員会・ジュニア理事会という組織の内容と役割を決定することから始め、ジュニア委員会で選手・保護者・先生やコーチからの意見を広くいただき、その意見を基に協会理事によるジュニア理事会で審議し、決議した内容について協会常任理事会で承認を得る、そしてその内容について説明を尽くす、という流れを徹底いたします。

2023秋季大会について、2023年9月現在のジュニア委員会で審議し、ジュニア理事会で決定したことをご説明させていただきます。

1. 順位戦は10ポイントマッチタイブレークではなく、1セットマッチ(6-6 タイブレーク)で実施する。

夏季大会では10ポイントマッチタイブレークを採用しましたが、関西の大会につながる順位戦であり、秋季大会において「暑さ対策」はあたらないため、1セットマッチにいたします。

尚、一部保護者には秋季大会も10ポイントの順位戦と説明していました。

大変申し訳ございませんでした。

2. シード選考について

シングルス:10月10日付関西ポイントには昨年2022夏季大会の府県ポイントが入っており、今年2023夏季大会の府県ポイントは加算されていない(11月ランキングで差し替え)ため、

10月10日付関西ポイントより2022夏季大会の成績分の府県ポイントを差し引き、2023夏季大会の成績分の府県ポイントを加算したものを採用します。

ダブルス:10月10日付関西ポイント(2022秋季・2023春季ポイント加算済)を採用します。

2022秋季大会の成績については、

2023春季大会のシード選考の際特別加算し、そのポイントを基にシードを選考して大会を実施、その結果は関西ポイントに加算されている。

2023夏季大会ではその関西ポイントのみでシード選考を実施した。

以上の点から、2023秋季大会は2022秋季大会の成績を加算いたしません。

しかし、これまでは秋季大会も県ジュニアのポイント対象大会という位置づけであったため、奈良県ポイントを説明もなく廃止してしまったことと併せて混乱を招き、お詫びいたします。

尚、2024春季大会については、上位大会につながる大会として2023秋季大会の成績を関西ポイントに換算して特別加算いたします。

2024 夏季大会以降については、再度審議し、決定次第ご説明させていただきます。

3. すべてのカテゴリーで本選のみ実施する(予選・本選にわけない)。

2023夏季大会で実施した予選本戦については、予選で良い試合ができた、と賛同の意見もいただきましたが、JTAのルール通りのシード数を確保するため、本選のみ実施いたします。

2023年9月19日

奈良県テニス協会ジュニア委員長 西口省三